



リトアニア共和国 Republic of Lithuania



たばこ産業の特徴

1. リトアニアのシガレット市場規模は約60億本と推定される。
2. 年間製造数量は38億本。
3. Philip Morrisがリトアニア唯一のシガレット・メーカーとして市場を支配している。
4. 市場はライト製品が優位であり、スーパーライト製品への移行が顕著である。
5. 喫煙規制に関してはローロッパでも一番厳しく、マスメディアによる広告は全て禁止されており、店頭広告のみが許されている。
公共の場所での喫煙は厳しく規制されている。

[1] 規制

警告文：

パッケージに健康注意表示が必要。

成分規制：

タールの含有成分上限は15mgに定められている。パッケージへのタール含有量表示必要。

喫煙場所規制：

学校、政府建物、病院、長距離路線を除く公共運輸機関、職場、国内航空路線は喫煙禁止。
公共の場所は喫煙規制。

販売規制：

18歳未満の未成年者への販売禁止。
学校、病院でのたばこ製品販売は禁止。
スモークレスたばこの販売は禁止。
自動販売機は禁止。

広告規制：

直接・間接を問わずあらゆる形のたばこ広告は禁止されている。
POS広告は規制されている。

販売促進規制：

無料サンプリングは禁止。スポンサーは禁止。

最近の動向

Philip Morrisは自主的に若者の喫煙リスクに対する関心を高めるために基金の提供やキャンペーンを行っている。
カバーする小売店は5,000店ある。

[2] 税制

付加価値税	小売価格の	18.00%
特別税8		0.75 ユーロ/1000本
物品税		8.75 ユーロ/1000本
関税	標準税率	35.00%

最も一般的な価格カテゴリーの税負担率をEUの課税標準率である57%にするために、エストニアと同じようにリトアニアも2009年までに更にシガレットを増税する。

[3] 喫煙者プロフィール

喫煙者率は33%、男性の喫煙者率はやや下がっているが、女性の喫煙者率は伸びている。

男性喫煙者率	40%
女性喫煙者率	20%

[4] 市場概要

- ・ リトアニアのシガレット市場規模は年間60億本と推定される。
- ・ 1998～2000年の年間製造数量は38億本。
- ・ リトアニアのシガレット消費は2000年には10%減って約60億本になり、一方、葉巻やシガリロは30%消費が増え、葉たばこの消費量は50%増えている。
- ・ 密輸が増えたために2000年の輸入は22%減り11.4億本になった。
- ・ Philip Morrisはリトアニアのシガレット市場の王者として市場を支配している。
これは 物品税が安いこと、政府の介入が比較的少ないこと、国営の競争相手が無くなったことが原因である。
- ・ リトアニア唯一のシガレット・メーカーとしてPhilip Morrisは市場シェアの85%を獲得している。
- ・ パルチック諸国3ヶ国で最大の国であるリトアニアは2004年のEU加盟を目指している。

[5] 製品プロフィール

- ・市場はライト製品が優勢である。過去数年、ライトやスーパーライト製品への移行が顕著である。
- ・バルチック諸国全体ではライト製品は市場全体の60%を占めており、若い成人市場だけに目を向けてみるとこの数字は80%を超える。
その他のたばこ製品は1%未満。
- ・ Philip Morrisが国内製造を始めて以来、市場での国際ブランドは明らかに伸びているが、国内ブランドは依然としてその地位を確保している。
主要ブランドはBond Street、Kaunas、Klaipeda、L & M、Marlboro。

[6] 企業概要

状況：

1993年にリトアニア市場へ参入して以来、Philip Morrisは大きな成功をおさめている。1995年に輸入税の特権を得て以来、政府との関係は良好であったが、最近是世界初の17人の強力なノンスマーカー内閣になり、喫煙規制強化により関係は冷えてきている。関係は冷えているが、Philip Morrisのリトアニアへの投資環境は、House of Princeのラトビア市場、Swedish Matchのエストニア市場に対する投資環境よりも良い。

UAB Philip Morris Lietuva：

リトアニア唯一のシガレット・メーカーとしてPhilip Morrisはシェア85%を獲得している。1995年末にKlaipedaシガレット工場(60億本規模、従業員400人)をスタートさせた。この工場への投資は2,500万ドルで、これによりリトアニアへの総投資額は4,550万ドルになった。1996年にKaunas工場を閉鎖して菓子工場とポテト工場に転換した。